



2025

5

第420号

真宗大谷派京都教区教化広報誌

教区だより

特集

地区紹介 雲因、湖東

レポート

真宗教団連合
滋賀県支部

慶讃法要

今、この時に、親鸞聖人に遇う

東北教区 橘 幸子 氏 近江第2組 高田 正城 氏

特集

雲因地区紹介

因伯組、出雲組

分担と連携の充実を図ること

雲因地区教化委員長 出雲組 光明寺 春日正信



雲因地区は、島根県（隠岐・東部地方）の出雲組と鳥取県の因伯組で教化事業を行っています。京都教区で一番広範であり、自然条件・文化・歴史も異なる地区です。年二回の雲因地区教化委員会では活動計画と反省を行い、分担と連携によって教化事業を進めています。今回は各組で担当している事業での学びを中心に紹介します。

出雲組は「地区育成員研修会」を担当しています。近年は同朋大学安藤弥先生に講師をお願いし、いかにして山陰まで真宗のお念仏が届いたのかを、歴史を学ぶ意義もふまえ、ご教授いただいています。

雲因地区内は、本願寺派や他宗の寺院が多く、神道も盛んです。本山から遠く離れ、名跡や別院等ありません。



しかしそんな私たちのもとに真宗のお念仏が届き、今につながっています。本研修会は、歴史の一次資料のみを使って、お念仏が一体どのような思いや願いで届けられたか、住職・寺族・門徒が一緒になって考えさせていただく場となっています。先生には、出演・監修された大河ドラマや当時のご門徒の信心にも思いを馳せながらご講話頂いています。さらに、西国真宗の伝播という広い視野に立つことで私たちの学びを深め広げていただいています。少子高齢化が進み、ご縁が薄くなりつつある「今」、「ここ」に届けていただいたお念仏の思いや願いを今後とも学び続けていきたいと思っています。

のみに使って、お念仏が一体どのような思いや願いで届けられたか、住職・寺族・門徒が一緒になって考えさせていただく場となっています。先生には、出演・監修された大河ドラマや当時のご門徒の信心にも思いを馳せながらご講話頂いています。さらに、西国真宗の伝播という広い視野に立つことで私たちの学びを深め広げていただいています。少子高齢化が進み、ご縁が薄くなりつつある「今」、「ここ」に届けていただいたお念仏の思いや願いを今後とも学び続けていきたいと思っています。



教化事業について

雲因地区は、とても広範囲にわたります。そのため現在は、地区教化事業のうち「育成員研修会」を出雲組が担当し、「部落差別問題研修会（旧同和問題研修会 写真）」及び「聖典学習会」を因伯組が主となって取り組んでいます。

島根県の松江市と鳥取県の米子市は、距離的にも近く行き来がしやすい為、松江、米子を会場に開催することが多くなっています。

特に因伯組は、十五ヶ寺しかなく、研修会や学習会を開催しても同じ顔ぶれになることが多いため、出雲組にも声がけして開催することにより、良い刺激となっていると感じます。

因伯組が担当する「聖典学習会」においては、ここ三年は、岐阜高山教区の四衢亮先生をお招きして『現代の聖典』をテキストとして、『観経』『是旃陀羅』の問題について、門徒と共に学ぶ場を持っています。

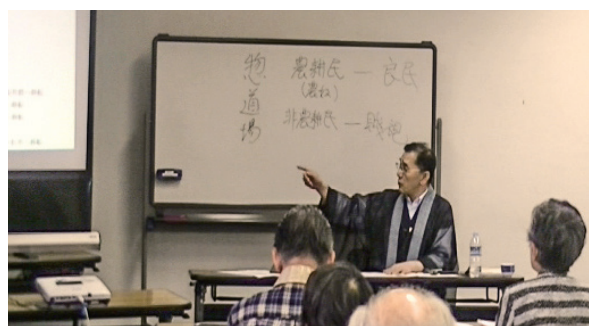
ます。

出雲組担当の「育成員研修会」においては、同朋大学の安藤弥先生をお招きして、山陰、出雲地域への真宗が伝わった歴史的な観点から教化伝道の歴史を学びました。

その他にも、山陰四組合同での坊守研修会を持ち回りで担当しています。自主学習会である山陰大経の会がありますが、残念ながらコロナウィルスの感染症拡大以降休止しています。

課題として、雲因地区には別院がなく、儀式作法について研鑽する機会が少なく思っています。今後は、立花や声明等の儀式作法についても研鑽の場を持てればと思います。

因伯組 緑浄寺 治田裕臣



特集

湖東地区紹介

近江第6組・近江第11組

湖東地区教化委員会の取り組み

湖東地区教化委員長 近江第6組 源通寺 禿義裕



湖東地区教化委員会は、常任委員（12名）と教化委員会委員（27名）で構成され、委員長、副委員長、主事の3名が委員会の運営に当たっています。地区教化事業として「育成員研修」、「同和人権研修」、「声明講習」、「同朋大会・推進員大会」、「同朋女性研修大会」、「地区坊守学習会」を毎年行っています。また、教化委員長、副委員長は各組長で持ち回り、教化事業も各組が持ち回りで担当しています。このような運営形態になっているのは、湖東地区には中心となる別院などがなく、地区としてのまとまりに欠ける面があるため、地区と組の繋りを意識できるようにと考えられたものと思います。

そこで、地区内各組の教化内容の点検と評価を行う中で、地区の教化事業が目指すべき役割、目標を確認し、各組と共有する事が重要と思っています。

本年度は、各組の教化事業内容を常任委員会で確認し、検討していく事になりました。しかし、その内容の点検・評価を継続的に行える組織づくりをどのようにしていくかが当面の課題といえます。

「組織は人」と言うように、まず地区内の風通しを良くするためには組長間のコミュニケーションを図っています。そのことが地区内の人的交流につながっていくことになると思っています。

教区改編により、今後は特区・地区を中心とした教化の重要性が指摘されていますが、なぜ地区教化が必要なのか、その意味を改めて問い、考えることから始める必要があると思われる。

坊守会からの報告

湖東地区坊守会会長 近江第9組 妙宗寺 野々目 整子



長く続いたコロナ禍の後、役員一同思いを新たにお引き受け致しました。坊守会も、組によつては高齢化や世代交代がうまく進んでいないなどの問題を抱えておりますが、補い合い助け合つて活動しております。一旦下

方に沈んでしまったものが元に戻るのだろうかと不安を覚えながらの船出でしたが、案ずる

より産むが易し。令和五年度の同朋女性研修大会は篠岡誓法教務所長のご臨席を賜りビハラー大垣代表沼口諭師をお招きして三百二十人の御門徒を前に「命を支える医療・いのちに寄り添う仏教」「いのちのケア」を宗教者と協働して見えたもの」の講演を頂きました。

ご来場の皆様には看取りや介護のテーマが

他人事ならず熱心に聴講頂き、今年度は、仁愛大学学長・同朋大学名誉教授の田代俊孝先生をお招きし、「悲しみからの仏教」を予定しております。

また、坊守研修会は、令和五年、六



年と前東北大学准教授大村哲夫先生に「聴くことの難しさとセルフケア」「かなしみを聴くこととセルフケア」の講題でお話し頂き「傾聴」への学びを深めました。坊守学習会につきましては、コロナ禍以前の年二回開催を踏襲し、令和五年度は教区駐在教導の赤松崇磨先生、渡邊晃先生を講師に「浄土真宗ってなんだろう?」の連続講座を賜り、今年度は、近江第九組曾我円成師に「感話の学び」のご講義を、続いて同長紀子師から「女性教化の歴史をたずねて」のご講義を頂きました。

無理せず焦らず、共に歩めることを感謝しつつ、学びを味わいながら御同朋御同行の道を歩み続けたいと思っております。

真宗教団連合滋賀県支部 慶讃法要

きょうさん

慶讃法要に参加して

出版部会 近江第26組 徳乗寺 比叡谷 真



去る二月二日、「真宗教団連合滋賀県支部(以下支部)宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要(以下、慶讃法

のちまいにち あたらしい」・「しんらんさま」の後、浄土真宗本願寺派の釈徹宗師による記念講演があった。

要)」が滋賀県野洲市の野洲文化ホールにて開催された。大谷派からも、地理的に湖南地区の方を中心としながら、県内各地からたくさんの方が参加されていた。

旧京都教区では、地区または組においてお待ち受け大会・慶讃法要を開くべく取り組んできた。私の所属組では、二〇二二年、同朋大会に兼ねてお待ち受け大会を開催し、当時の教化委員会

最初に音楽法要のお勤めがあった。新実徳英氏(にいみとくひで)が、真宗大谷派宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌に際して作曲された法要曲だが、

では「慶讃法要もお勤めしたい」との声も出ていたが、その後沙汰止みとなっている。

今回は本願寺派のコーラス響流と、当派の合唱団花あかり・大津別院合唱団により合唱された。何度か支部の大会に参加しているが、今回の音楽法要形式含め、他派の方と和訳正信偈のお勤めが一緒にできる貴重な機会である。

その後、式典・仏教讃歌(「い

一昨年、ご本山での慶讃法要にあいた人は、実際のところ限られていたのではないか。だからこそ、より多くの人が慶讃法要にあうことができるよう、特区・地区や組、また別院も含め、様々なところで慶讃法要がひらかれることが願われていると感じた。



男と女の平等って、なに？

出版部会 山城第4組 光久寺 徳田 潤子

門徒様の葬儀式を執行させてもらうようになって久しい。

われた。

最初は見習いとして住職である父に付いて行ったが、そのうち一人で各葬儀場や故人様の自宅へ出向く事が増えた。一人で枕勤めに行くと、よく遺族や親族方が驚いた様子や不安そうな顔をされていた事を思い出す。

これらの言葉や質問に私は驚いた。相手方は深く考えず素朴な疑問や思いをお話して下さったのだと思う。女性僧侶は男性僧侶に比べて絶対数が少ない故、葬儀式を行う事は男性僧侶より少なくなる。

まだまだ若かった事もあるだろうが、女性僧侶が葬儀式に携わる事が珍しいという事を察した。あれから十年以上の時が経った。門徒様との付き合いが長くなり、また私が年を重ねたせいから葬儀式に行く度に相手方に驚かれる事は少なくなった。

しかしこれらの言葉の背景には、女性僧侶が葬儀式を執行する際はやむを得ない事情があったり、「男性僧侶の代役」として執行しているという考えがあるように感じた。門徒様や親族様の中には、このような考えや思いを持つておられる方もいるかもしれない。

ところが、最近になって他教区の僧侶方と葬儀式についての話をした際に「葬儀式を執行できるの？すごい」「女の人が葬儀式をするのは珍しいね」「住職でもないのに何故？」と何人かの方に言

ただ、性別に関係なく私は僧侶として葬儀という御縁をいただいたら「精一杯勤めるのみ」という信念を持っている。今後この事を心に留めていきたい。

今、この時に、

親鸞聖人に会う



それもわたし

東北教区 雲照寺
うんしょう

橘 幸子
たちばな さちこ



みなさんは「後悔していることはありますか」と問われたらどう答えますか？ 人によって様々だと思います。具体的 な事柄がある人もいるでしょう。また「後悔」という言葉から、「過ぎたことをくよくよしても前に進まないよ」と無理やり自分に言い聞かせてみたり、後悔していることを意図的に見ないように思い出さないようにしてみたりするこ

とを想像したりはしませんか。わたしは「後悔していること」を誤魔化し、無かったかのようにすることでなんとか生きてきました。そうすることで「どうして後悔しているのだろうか？」と考え、自分自身と向き合うことを避けていたんだと思います。

私事ですが、父が癌で亡くなって5年たちました。父が亡くなってから悲しいはずなのに不思議と父を思っ

て泣いたことはなかったのですが、先日医療小説を読んでいたら涙が止まらなくなりました。病で倒れた父親の元へ娘が病院に駆けつけていくという何でもない描写で涙が止まらなくなつたのです。わたしは山形県酒田市という所に嫁いで暮らしています。出身は滋賀県守山市です。実家までは電車で8時間弱か

かります。父の癌が末期になった時にわたしは何を置いても駆けつけたかった。だけど、子どもが小さいからとか、距離が遠いからとかでぐずぐずしてすぐに駆け付けられなかった。その後悔の波がどつと押し寄せて涙が止まらなくなつたのです。

「後悔していること」それは、父が癌

の末期でも車椅子に乗れるうちに実家に帰って、車椅子を押して一緒に散歩をしたかった。食事が摂れるうちに一緒に母が作るご飯を「美味しいね」と言っ

あるのかなあと感じさせてくれました。わたしは父を亡くしました。生きるということは愛しい人との別れを経験していくことです。仏典にある説話に、幼い我が子を亡くした母、キサー・ゴタミーのお話があります。彼女は、お釈迦様との出あいのなかで人はみな命終えていくことを知り、我が子の死を縁として仏道を歩まれていきます。

我が子が亡くなった事実と共に生きてく道を知らされたのだと思います。気弱なわたしなので今でも「苦しいこと、辛いこと」はできるだけ無い方が良く

分自身を見るのが嫌で後悔していることを思い出したくなかつたのだと思います。

の大きさになっているのかなあと気づき始めています。

このことを先輩僧侶に話したら「『それもわたし』と自分自身に声をかけてあげてみてはどうでしょうか」と言ってもらいました。その言葉の優しさには、後悔していることを誤魔化して生きていたわたしに後悔と一緒に生きていく道が



今、この時に、

親鸞聖人に会う



「真宗に会う」学校

～大谷と京都光華～

出版部会

近江第2組 三因寺

高田 正城



宗祖親鸞聖人が明らかにされた教えを「建学の精神」とし、これに基づく人間教育を実践している学校を「真宗大谷派関係学校」と呼びます。私たちの京都教区の中にも「大谷」「京都光華」という2つの中学高等学校があります。私が関わったこれらの学校でのエピソードを紹介します。

大谷では「宗教」の授業で「感話」が実施されています。授業の最初に自分の経験から考えたこと、感じたことを発表するという、いわば「自己を語る」取り組みなのです。

ある高2男子生徒の感話が今も心に残っています。

「おれ、中学の時、一人でスイミングスクールに通っていた。実はおれな、ずっといじめられていた。友達も一人もいなかった。学校に行くのがつらかったけど、親に心配かけたらあかんと思って頑張った。スイミングスクールだけがおれの安心できる居場所やった。大谷に来て、最初は一人でうつむいてたけど、そんなおれに声をかけて、一緒に昼ご飯食べてくれる人がいた。遊びに誘ってくれる友達もできた。ささいなことやけれど、「おれはよう」「じゃあまた明日」って言える相手がいることがうれしくてしかたない。だから今はもう、スイミングスクールに行く必要がなくなったんや」

最後に彼は眼差しを上げてこう言いました。

「ここがおれの居場所や。みんなありがとう」

「大谷」はこういう学校です。

光華の陸上競技部に、中3の夏、100m走で全国大会を目指した女子生徒がいました。彼女は3年間の厳しい練習に加え、勉強も頑張り、礼儀も身につけ、技術的にも精神的にもベストを尽くしました。しかし、標準記録まであと0・07秒届かず、陸上に懸けた最後の夏が終わり、彼女の胸の中にやりきれない思いが渦巻きます。「努力が報われないこともあるんだな」「仏さまなんか、ほんとうにいるんだろうか……」

その時、彼女は心を揺さぶられる言葉に出会ったのです。

私を見ていてくださる人があります。私を照らしてください。こんな人がある。私はくじけずにここにちをあるく

(榎本栄一)

「夢がかなって、輝いている自分だけがすべてではない」「うまくいった時のあなたも、そうでない時のあなたもちゃんと見守っているよ」と、「私に呼びかけてくれる存在」こそが「仏さま」なのだ。「大切なもの」に気づいた彼女は、新たな目標を定め、再び自分の道を歩

大谷講堂



光華講堂



み始めるのです。

「京都光華」はこういう学校です。

いずれも「花まつり」「報恩講」等の行事や、週1時間の「宗教」の授業を通じて、日常生活の「喜びや悲しみ」の中にこそ仏法のはたらきがあると学んでいく場所です。

もし、有縁のお子さんで中高の進学を控えておられる方がいらっしゃれば、一度「ご本尊のある学校」「真宗に会う学校」を訪ねてみてはいかがでしょう。

大谷中学・高等学校

京都市東山区今熊野池田町12

TEL 075 (541) 1312

京都光華中学・高等学校

京都市右京区西京極野田町39

TEL 075 (325) 5223

京都教区 5月の教区事業

3日(土)	10:00～15:00	花まつり子ども大会	長浜別院
14日(水)	9:30～15:30	坊守会基礎講座 (Zoom 併用)	教区会館 2階 大講堂
16日(金)	13:30～16:30	部落差別問題に学ぶ同朋協議会 研修会	教区会館
25日(日)	13:30～16:30	若狭地区 推進員の集い	小浜市 総合福祉センター サン・サンホーム小浜
26日(月)	13:00～17:00	靖国問題学習会 公開研修会	教区会館 2階 大講堂

京都教区 5月の教区諸会議

8日(木)	13:30～16:30	教化本部 企画室 会議	教区会館 2階 大講堂
21日(水)	13:30～16:30	教化本部会	教区会館 2階 大講堂
23日(金)	13:30～17:00	部落差別問題に学ぶ同朋協議会 総会・研修会	教区会館 2階 大講堂
30日(金)	13:30～16:30	教区教化委員会 総会	教区会館 2階 大講堂

教務所からのお知らせ

住職任命書

二〇二五年二月二十八日付

・敦賀組 稱名寺 佐藤 幸次

敬弔

ご生前のご功労を偲び、謹んで
哀悼の意を表します。

・長浜第二十四組 本宗寺

住職 藤井 澁丸 九十一歳

二〇二五年二月九日

〔寺院教会番号順 敬称略〕

長浜教務所の

現金取扱い日について

今年度下半期(2025年1月～
6月)の5月以降の長浜教務支所
の現金取り扱い日は、左記のと
おりです。

5月12日(月) 5月26日(月)
6月9日(月) 6月23日(月)

告示

第6号

2024年12月1日施行の査察委員補欠選
挙において、左記の者が査察委員に当選した
ので、査察委員条例施行条規第9条により告
示する。

記

当選人の氏名 桂隆雄(丹波第1組 西乗寺)

以上

第7号

2025年3月7日施行の副組長補欠選挙
において、左記の者が副組長に当選したので、
組制施行条規第26条第1項により告示する。

記

当選人の氏名 榎智龍(長浜第14組 光覺寺)

以上

同関協発足50年記念

同関協近畿・東海ブロック現地研修会2025 IN長浜

「解放の親鸞思想に学ぶ」

【日時】 6月9日(月)・10日(火)

【会場】 9日 長浜別院、長浜教務支所

10日 木之本総合センター、信楽会館

※日程の詳しい内容は、寺院発送同封のA4
リーフレットをご確認ください。

参加申込 QRコードをスマホ・タブレット等で
読み取り、必要事項を入力してお申し込みいた
だくか、参加者の氏名・連絡先・交通手段・到着
(出発)予定時間・懇親会の参加の有無等をご記
入の上、Eメールまたはハガキにて下記までご連
絡ください。

同和関係寺院協議会近畿ブロック長 岡田克也
〒699-5202

島根県鹿足郡津和野町左燈1808

Eメール k-ok-a-da@docomo.ne.jp

電話番号 090-3638-8400

0856-76-0610



依頼「令和六年能登半島地震」

災害に対する救援金の勧募について

昨年(二〇二四年)一月一日に発生した
能登半島地震から一年余り経過いたしま
した。これまで、教区内のみならず、被災
地からの支援にご理解をたまわり、救援
金をお寄せいただいておりますこと、この
場をお借りして御礼を申し上げます。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地
は、真宗門徒の多い地域であります。と
りわけ震源地である能登地方は多くの寺
院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もな
お深い悲しみと不安の日々を過ごされてお
ります。真宗大谷派として、今後も全
力を傾注して支援策を講じてまいります。
地震発生直後から、真宗大谷派寺院の被
害状況や今日までの支援活動の様子など
は、真宗大谷派Webサイト内でも随時お
知らせ更新しております。また、公式S
NS(X)でも発信しています。

京都教区としても、息の長い被災地支
援を続けてまいりたいと存じます。なにと
ぞ趣旨をご賢察たまわり、救援金勧募な
どの被災地の支援に引き続きご協力くだ
さいますようお願いいたします。

真宗大谷派Webサイト内
令和6年能登半島地震について

災害情報公式X(旧ツイッター)



京都教区別院 5 月の行事予定

1日(木)	12:00～13:00	赤野井	定例法要(宗祖親鸞聖人)	法話 中川眞 師(別院輪番)	赤野井別院
3日(土)	10:00～15:00	長浜	花まつり子ども大会		長浜別院
6日(火)	13:30～13:50	五村	蓮如上人御影道中お立寄り		五村別院
6日(火)	18:00～	長浜	蓮如上人御影道中お立寄り・到着		長浜別院
6日(火)	14:00～16:00	伏見	声明作法講座	法話 浅井誠 師(山城第3組 皆演寺)	伏見別院
7日(水)	8:30～	長浜	蓮如上人御影道中勤行・出発		長浜別院
9日(金)	11:00～	大津	蓮如上人御影道中お立寄り		大津別院
9日(金)	13:00～	山科	蓮如上人御影道中お立寄り		山科別院
10日(土)	14:00～16:30	伏見	同朋会 御文輪読		伏見別院
～5月11日(日)		長浜	早川鉄兵氏 切り絵障子展示		長浜別院
11日(日)	11:00～17:00	岡崎	落慶法要記念行事 おかざき別院フェスティバル		岡崎別院
15日(木)	14:00～16:00	山科	定例法話	法話 磯野淳 師(山城第1組 新道寺)	山科別院
18日(日)	13:30～16:00	長浜	同朋大会		長浜別院
19日(月)	19:00～21:00	伏見	親鸞教室	藤原正寿 師(大谷大学准教授)	伏見別院
20日(火)	13:30～16:30	山科	同朋の会	法話 磯野恵嗣 師(教区駐在教導)	山科別院
20日(火)	14:00～16:00	大津	同朋の会 聞法会	法話 近藤唯遊 師(山城第1組 正善寺)	大津別院
23日(土)	10:00～11:30	岡崎	三日講「歎異抄を読む」	法話 近藤悠 師(列座)	岡崎別院
27日(火)	12:00～13:00	赤野井	定例法要(宗祖親鸞聖人)	法話 中川眞 師(別院輪番)	赤野井別院
27日(火)	14:00～16:00	伏見	ご命日のつどい	法話 宮部渡 師(太極 西称寺)	伏見別院



京都教区公式SNS

公式 SNS で更新情報などを配信しています。
1,000 力寺を超える寺院・教会がある京都教区
ですが、登録者数はまだまだ少ないです！
ぜひご登録をお願いします！



LINE公式アカウント

2025年3月31日現在登録者数162名
LINE ID @441foywe



Facebook Instagram

もちろんあります！



(出版部会 藤野顕生)

二月末に本山へ住職修習を受けてきました。日程の最後に班担の先生より「住職になり、様々な目標があるかと思っています。しかし、やろうと思っても上手くいかないこともたくさん出てくると思います。上手くいかなくてもいいんです。大切なことは、最初の目的を忘れないことです」とお話されたことが強く心に残っています。先を見据えて何をすべきか、ということも大事だが、何よりいま現在私はどこへ向かって歩んでいる者なのかを忘れるな、という風に受け取らせていただきました。「目的」とは未来にあるのではなくて、いま現前にあるものなんだろうと思います。「教区だより」も、紙面をどう埋めていくか、原稿を誰にお願いするか等、先のことに追われがちな現実がありますが、「教化広報誌である」という目的を念頭に置きながら、これからも編集に携わっていきたいと思います。

編集後記

【表紙の写真】「鴨川デルタで川遊び」(小山大来/山城第2組 圓重寺)

真宗大谷派 京都教区 教化広報誌 教区だより 第420号

真宗大谷派 京都教区 Webサイト <https://www.k-kyoku.net>

【発行人】宮戸弘(真宗大谷派京都教務所長) 【発行所】真宗大谷派京都教務所 【発行日】2025(令和7)年5月1日
〒600-8164 京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel 075-351-5260 Fax 075-351-5256 Mail kyoto@higashihonganji.or.jp

